

## クリーンアップ調査 共通調査作業手順(案)

### 【調査前日】

- ・ 調査の可否判断(中止基準:風雨が強く、安全に作業ができない天候時、警報(大雨・強風・津波)発令時など)
- ・ 昼食(弁当・飲み物)手配
- ・ 仮設トイレ(設置許可の確認)・休憩所の準備(必要な場合)  
トイレットペーパー、手洗い水の補給、休憩所の設定、飲料(うがい)水の設置
- ・ 調査範囲を示す看板の設置
- ・ ゴミの集積所の準備(分類ごとの集積所に分類手順看板の設置)
- ・ 駐車場の確認・準備
- ・ 回収用具等の準備
- ・ 障害保険の確認
- ・ 調査枠の設定、枠の写真撮影、断面測量は可能であれば回収作業前日に行う。

### 【調査当日:ゴミ回収開始前の作業】

#### 集合・作業打ち合わせ

- ・ 名簿・人数の確認およびネームプレート(必要な場合) 飲み物、軍手等の配布
- ・ スケジュール(作業開始・終了時間、休憩時間等) 作業内容の説明
- ・ トイレ、飲料水、休憩場所の確認
- ・ 役割分担の確認

以下の各作業において役割分担を定める。

- 野帳の記入および写真撮影(原則として作業責任者が行う)
- 調査枠の設置(可能なら前日に行う)  
ハンドレベル測定者、 スタッフ保持者、 枠の設置作業者  
(必要に応じて および に補佐をつける)
- 写真撮影(可能なら前日に行う)  
撮影者、 看板保持者
- 断面測量(可能なら前日に行う)  
ハンドレベル測定者、 スタッフ保持者  
(必要に応じて および に補佐をつける)
- 回収作業

以下の品目について回収担当者を定める。

- プラスチック類、 ゴム・皮革類、 発泡スチロール類、 紙類、 布類、  
ガラス・陶磁器類、 金属類、 その他の人工物、 生物系漂着物、 医療系・危険物、 レジンペレット
- 分類・計測作業  
分類作業、 個数測定、 重量測定、 容積測定

- ・ 安全注意事項の説明(読み上げ)  
重いものは無理して運ばない。  
鋭利なものの取り扱いには十分に注意する。  
釘の付いた材木等もあるのでよく確認して回収する。

ゴミを拾うときは必ず手袋をするか、ゴミバサミを使う。  
よく分からないものには触れずに班長に伝える。  
けがや体調不良の場合はただちに班長に伝える。  
その他の注意事項

## 【調査枠の設定、ゴミ回収作業、運搬】

### 1．調査枠の設置（可能なら前日に行う）

（1回目）

調査地点の決定

基点の決定（汀線高さ測定 年間最大満潮位 = 基点決定）

調査枠の設置

誘導点の決定および測定

（2回目以降）

基点の誘導（誘導点 基点誘導）

調査枠の設置

### 2．写真撮影（可能なら前日に行う）

調査枠（各頂点から枠中心方向を撮影）

枠内の主要なゴミ（海との位置関係、ゴミのアップ、特徴（ラベル等））

### 3．高さ（傾斜）測定（可能なら前日に行う）

水準点の設定（1回目のみ）

各地点（各枠の頂点、代表ラインの変曲点）の高さの測定

### 4．ゴミの回収

大分類別に、各担当者がゴミを回収

残った小さいゴミを熊手で回収

40 cm方形枠内（深さ 5 cm）のレジンペレットを回収

取り残しがないように班長が最終確認を行う。

### 5．ゴミの分類・測定

品目分類別に分類し、個数、重量、容積を測定する。

写真撮影（大分類別、全量、作業風景等）

### 6．運搬（または一時保管）

一般廃棄物、産業廃棄物、医療系廃棄物、危険物等に分類する。また、地域のゴミ分別にしたがって分別し、処理施設に運搬する。

許可業者に運搬を委託する場合は、許可書、車両の表示等を確認。

処分場まで自己運搬する場合は、定められた書類、車両の表示を確認する。

一時保管する場合は保管場所の確認と飛散防止の処置を行う。